

# 越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会  
 会長 高野 淑 恵  
 〒343-0021 越谷市大林235-9  
 TEL・FAX 048-977-1908  
 発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会  
 理事長 高野 淑 恵  
 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂  
 2-15-3 母子福祉会館内  
 TEL 048-833-0444  
 FAX 048-833-0400  
 発行日 令和3年12月31日  
 購読料 20円は会費に含む



## 『新しい年になりました……』

越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野 淑 恵

あけましておめでとうございます。  
 平素よりご支援ご協力戴いております。  
 す皆様に厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり、新型コロナウイルスに罹患された皆様には一日も早く快復されますことをお祈り申し上げますと共に、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また医療従事者の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。本年もよろしくお祈り申し上げます。今年こそ、コロナが終息致しますことを心より祈念致します。

さて、新年を迎えましたが、やはりまだコロナ以前ののんびり、そしてちよっとわくわくするような華やいだ雰囲気は感じられません。年末に現れた変異株（オミクロン株）のせいでしょうか。でも、ウィルスの解明解析が不完全なのですから、変異株が出るのはある程度想定済みです。報道するのは当然ですが、徒に国民の不安を煽るような報道の仕方は止めてほしいものです。日本人は大多数がきちんとマスクを着用し、手洗い・うがいもきちんとやっています。すべしマスクをやめて、大人数のパーティーやイベントを行ってしまう海外と違い、こういうところは日本人の国民性（慎重でまじめ）の良さを感じます。

「コロナはコロナ、そこにはかり回れ過ぎず、今年はどうな1年にしようかとあれこれ考えて楽しむことも大切です。コロナのせいで花を楽しむ人が減っても、梅や桜はちゃんと咲きます。散った後には青葉が夏空に輝き、もみじやイチョウがそれぞれに色づき風に舞います。やがて野分がたち再び枯れ野に冬が訪れます。コロナがあっても無くても、変わらず過ぎていく四季の中で、私たちは歩み続けます。知的に障害のある人たちが少しでも幸せに暮らしていけるように今年もまた様々な問題に取り組みます。ですので、正月早々、ピリピリ辛い話ですみません。

先ず「共生社会」です。「共生社会」、それはとても美しい響きですが、障害者が自立して生きていくために不可欠な「暮らし」と「住まい」は全く中途半端なままです。グループホームが必要だと言っても、国や県が建ててくれる訳ではなく、「グループホームは365日開所」とうたっておきながら、土・日・祝日の日中の給付金は出してくれません。休みの日は親元に帰るか、移動支援を使ってホームの外で過ごせということですが、知的障害者は、ホームでのんびりと過ごしてはい

けないのですか？ 休日の過ごし方を自分で決める権利はないのですか？

親がいなくなつて帰れる所がなくなつたら、それでもホームで過ごしてはいけないのでしょうか？ これって、本人の意思を全然尊重していません。

国が日中の給付金を支給しない理由は全くわかりませんが、障害者権利条約が施行され、『本人の意思決定が何よりも大事』とされている理念に完全に逆行し違反しています。

既に判断能力に弱点のある人たちを護るための「成年後見制度」も、「本人の意思決定を尊重していない」と権利条約の締結国から大きな批難を浴びています。国家としてきちんとした改革をしなくてはなりません。グループホームと成年後見制度は、共生社会での大きな2本の柱です。それなのに、前者は休日中の給付を拒み、後者では後見報酬を本人負担にしています。どちらも一番経済的に負担の掛かるところは、障害者本人とその家族に押し付けて、国は目をつむっています。『家族ありき』の考え方は、本当の福祉ではありません。昨年は、「障害者差別解消法」の改正がありました。法や制度だけでなく、今、直面している現実的な問題を改正してください。お正月早々、『絵に描いた餅』は食べたくなさります。

# 千草園だより



新年あけましておめでとうございませう。本年もどうやませうございませう。お願いいたします。

皆様にとつて良い年でありませうように祈念いたします。

今回は十月から十二月までの出来事を報告させていただきます。



## 秋だー芸術とスポーツを楽しもう！



十月二十八日(木)に十月お楽しみ会を行いました。午前中は芸術の秋ーという事で「しおりのつくり」を行いました。真っ白な台紙に好きな絵やシールなどでデコレーションし、個性溢れるオリジナルのしおりが出来上がりました！午後はスポーツの秋ーという事で、しらこぼとホールをお借りしてスポーツレクリエーションを行いました。ボールを使ったりしたレクを対戦形式で行って盛り上がりました！皆さん広い

ホール内を元気に気持ち良さそうに体を動かして楽しんでいました。



## 毛糸アートづくりと 燻製づくり

十一月二十六日(金)に十一月のお楽しみ会を行いました。事前に「毛糸アートづくり」または「燻製づくり」のどちらに参加したいかのアンケートを実施して二チームに分かれて行いました。「毛糸アート」チームでは型紙に沿って毛糸を貼り付けて素敵な作品を作っていました。皆さん毛糸を貼り付ける工程では真剣な表情で取り組んでいました。「燻製づくり」チームでは施設の駐車場に行いました。天気が良く、青空の中で実施することができ

ました。用意した食材は、ちくわ、ウインナー、チーズ、味付け玉子の4種類を用意しました。燻製が出来上がると、どれも美味しそうで、早く食べたー！と待ちきれない様子でした。風食時にみんな食べると「美味しいね」という声があがっていました。午後は、フリスビーゲームや実習生が考えたゲームをして楽しみました。



## 千草園クリスマスパーティー

十二月二十四日(金)に千草園クリスマスパーティーを行いました。今年度もお世話になっている方々を招待して開催する形は叶いませんでしたが、利用者の方々と支援員で楽しいクリスマスパーティーを行

うことができました。午前中はクリスマスランチを作ったり、会場を装飾したりの準備をしました。午後は、ゲーム大会の後、お待ちかねのティータイムでケーキとジュースで乾杯をして楽しいひと時を過ごしました。そして、プレゼントタイムでプレゼントを貰い、皆さん笑顔で一日を過ごしていました。来年こそはお客様と一緒に楽しいクリスマス会が開催できるよう願うばかりです。



昨年も新型コロナウイルスの影響により、外に出る活動が制限されて、我慢の日々が続いています…。今年こそは以前のように外に出て思いっきり活動できる日々に出るだけ早く戻ってほしいと願うばかりです。(浅見)

# 野の花だより

自粛を強いられた年も終わり、新たな年を迎える事が出来ました。新年度は普通の日常が送れる年になってほしいと節に願います。そんな自粛生活の最後の三ヶ月の様子をお伝えしたいと思います。



## 「健康診断・調理実習」

十六日(土)に久しぶりの健康診断がありました。この日のお昼は体の事を労り、野菜たっぷり野菜たっぷりでしたが、皆さんラーメンは大好きな様子であったという間に完食でした。午後は千草園に移動し、健康診断を受けました。さてさて、久しぶりの健診の結果はいかがでしたでしょうか……。



## 「お楽しみ会①」

二十二日(金)にお楽しみ会を行いました。今回は、ハロウィンパーティーの玉入れや少し工夫して卓球サッカーを行ってみました。ゴールに玉を決めると勝ち！というルールが解りやすかったようで、ゴールめがけてスマッシュを決めたり、玉が入るたびにガッツポーズをとるなど皆さん盛り上がっていました。



お昼には、バイキング形式の昼食会を行い、我先にと唐揚げ、ポテトをお皿に入れていました。午後は、ゆっくりとDVD鑑賞会を行い、懐かしの映像を楽しんでいました。



## 「お楽しみ会②」

例年、ディズニランド外出の月だったので、お楽しみ会の内容もディズニー使用にしてみました。キャラクターのミニゲームを多数取り揃え、熱戦を繰り広げました。お昼にはピザを注文し、キャラクターで彩り、ディズニースタイルを味わいました。午後はポップコーン(キャラメル味)作りを行い、ジュースと一緒に頂きました。



## 「調理実習」

月に一度、通所日には調理実習を行っています。皆さん、エプロン三角巾姿に抵抗なく着替えビニール手袋も自ら、はめてくれています。包丁さばきも板についてきており、最近では薄切り千切りと、自分なりに切り方を考え、細かく切ってくれています。こんな成長を見る事が出来たのも「自粛」という生活を虐げられたおかげ?かも……。

はいえ皆さん自分で作ったご飯は、とても美味しいようで、いつも完食でした。



## 「クリスマス会」

二十二日(水)は、クリスマス会を行いました。午前には、椅子取りやビンゴゲームを行い、勝った方からプレゼントをゲットしました。その後、皆でパーティー帽子作りを行いました。



午後には、セラピーの先生によるクリスマスパーティーのセラピーを行い、皆さんクリスマスを満喫していました。

まだまだ、ウイルスに警戒は必要ですが、職員一同、利用者さんの笑顔の為に日々、頑張っていきたいと思えます(張ヶ谷)

## 会計報告

《 賛助会費 》 10,000円 (10口)

《 売上金 》

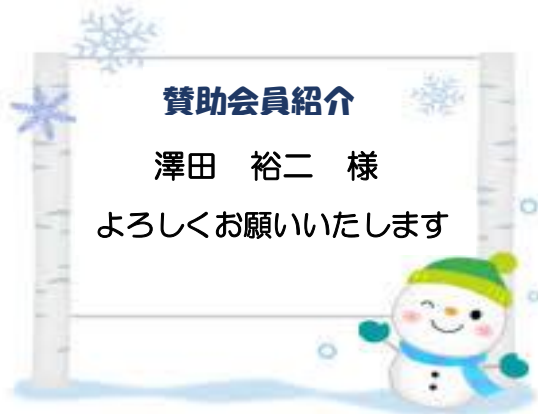
- ・ホリウチ (うどん等) 5,400円
- ・わかめ 5,000円
- ・ごま 4,900円
- ・お茶 12,960円



ご支援ありがとうございます



## 千草園クッキー ご購入 ありがとうございます



### 賛助会員紹介

澤田 裕二 様

よろしくお願いいたします

- ・小林商会 様
- ・くらしセンターベしみ 様
- ・山田 敏子 様
- ・小島 瑠由裡 様
- ・高塚 温子 様



## クリスマス会に お菓子を ありがとうございました

- ・清松クリニック 様
- ・後藤 美枝子 様



### ◇◇ 編集後記 ◇◇

本年もよろしくお願いいたします。

秋に転倒し足首を骨折して2カ月ほどギプス生活を送りました。エレベーターやエスカレーターのありがたさを、また、少しの段差に苦労させられたことを経験しました。不自由さを味わい、気づくこともありました。

一方、目には見えにくくわかりにくい障害の方々の生きづらさにシンパシーを感じ、ともに歩んでいけるのかを改めて考える時間となりました。(猪鼻 孝子)